

B-d-5 年間目標の取り組みに対する結果(1) 労働災害

労働災害

2011年、HORIBAグループでは、休業を伴う重大災害の発生はありませんでしたが、6件の不休業災害が発生しました。

具体的には、「自社製品の解体作業で、手指切傷」「パーティション移設作業時、ガラスで腕裂傷」「廊下で滑って転倒、頭部打撲」「クリーンマット交換作業時、ドアノブで頭部裂傷」「高速道路玉突事故(被害者)で腰椎捻挫」「感謝デー(社内行事)リレー競技で足の甲剥離骨折」でした。不安全行動が主な原因で危険が顕在化しました。

この結果を厳粛に受け止め、安全衛生ルール・交通ルールの遵守を基本に、「リスクアセスメントによる危険源の摘み取り」「他部署の良好改善事例を自部署の改善につなげる」「安全衛生教育の徹底による社員一人ひとりのレベルアップ」「社員がいきいきと業務に取り組める快適職場づくり」「コミュニケーションの取れた明るい職場づくり」等々多方面から災害の芽を未然に摘み取る活動を推進いたします。

労働災害発生件数(対象は業務上災害)

